

活動名：さいとう医院杯フットサル U10 大会「FC アーレ B チーム」

日 程：令和8年2月7日（土）

会 場：小野町町営体育館

参 加：4年生 7名

帯 同：設楽・横山コーチ

結 果：予選リーグ

VS 芳賀 SSS 8：1 ○

VS 常葉 SSS 1：3 ● リーグ 1 位通過（得失点差）

準決勝

VS 行健 SSS 4：1 ○

決勝

VS リガーズ FC 2：0 ○

FC アーレ B

優勝／12チーム中

報 告：設楽

<大会参加の背景・目的>

● 本大会への参加経緯

毎年この時期に小野 FC 様よりご招待をいただき、参加させていただいている大会です。
今大会は2チーム参加の枠をいただき、3、4年生を中心とした編成で出場しました。

● 今大会の位置付け

- ・ 日々の練習の成果を実戦で確認する経験の場
- ・ 大会である以上、勝敗にもこだわる公式戦

● メンバー選考基準

- ・ E3・E4 クラス＋L100四年生のうち
- ・ リフティング10回以上の記録による上位7名を選出

<事前準備・大会に向けた考え>

● 大会全体のレベル・特徴

- ・ 小野 FC 様と親睦のある、県中地区の強豪チームが集まるレベルの高い大会

● 事前に意識したポイント

- ・ インフルエンザが流行する時期であり、2 チーム参加のため、最低限試合が成立する人数（5～6 名）を確保できるかが懸念点であったこと。
- ・ 喜多方4年生大会での強豪と戦ってきたメンバーが中心で上位入賞でもあったことから、今大会はそのステップアップとして優勝に導きたいと思っていたこと。

● コーチングで重視した点

- ・ キックインにおける戦術的な決め事の実践
- ・ GK のクリアランス時における投げる場所の駆け引き
- ・ 相手にひるむことなく、果敢にプレーする姿勢
- ・ 攻め役や守り役の責任感あるプレー意識を持つこと
- ・ 初戦の勝ち方がとても大事であり、勝ちたい気持ちを最大限に出す意識づけ

<予選リーグの振り返り>

● 予選リーグ結果

【1 勝 1 敗 / 1 位通過】

芳賀 SSS さんと常葉 SSS さんは 3 : 1 で芳賀 SSS さんが勝利していましたが、アーレが芳賀 SSS さんに大量得点で勝利し、油断していたことから常葉 SSS さんにあっさりと負けてしまい、子供たちは準決勝へ進むことができないと悲しがっていたところ、当失点差で 1 位通過となりました。

● 初戦の位置付け・狙い

大会において初戦の戦い方は最も難しく、ここを勝ち切れるかどうか大会全体の流れを左右します。しかし、キーパー役をやりたい子が居ない学年であったため、コーチからの指名により無理やりお願いして挑みました。

初戦の芳賀 SSS さんとの試合では、前半の接戦から後半になると大量得点を奪うことができ、3 年生も出場でき非常に大きな自信につながりました。

2 戦目は芳賀 SSS さんに敗れていた常葉 SSS さんだったこともあり、コーチも油断していました。また、審判を担いながらの試合運びとなり、コーチングの声掛けがあまりできなかったことや交代のタイミングを持てなかったことから失点による修正ができず惜敗しました。

<順位決定戦の振り返り>

● 準決勝

行健 SSS さんとの対戦では、常葉 SSS さんに惜敗したことから吹っ切れたのか、子供たちものびのびプレーしていたように思いました。良い形でタイミングよく得点を挙げることができ、危なげなく勝利し決勝へ進出することができました。

● 決勝戦

決勝はリガーズFCさんとの対戦でした。リガーズFCさんは近年の試合でアーレはあまり勝つことができない相手だったことや、当日は隣コートで試合をやっていたこともあり、相手チームの様子がわからず構えて挑みましたが、やはり拮抗した試合内容でした。

しかし、果敢に相手に下がることなく向かっていくことを伝えていたので、子供たちは下がることなく相手に攻め込み、前半の終了間際に得点することができました。しかし、ハーフタイムでは1点リードで喜んでいることはできないともう1点を後半は直ぐに取りに行く姿勢を伝え、さらにアーレが主導的に試合を進めることができ、追加得点によりしっかりと優勝をものにすることができました。

この試合では、前後半を自らがGK役をかってでてくれた「はると君」に感謝したいと思います。失点することなくしっかり守ってくれました。

常葉SSSさんに予選で惜敗しての優勝であったこともあり、すっきりとしないタイトルではありますが、アーレのU10として実力を出せたと思います。

＜子供たちの様子・成長・今大会で感じた課題＞

- ・ 喜多方4年生大会でも帯同していたこともあり、参加した4年生たちの大会でのオン、オフの様子や各試合への準備や試合の個々の戦い方がよくわかっていたこともあり、お互いに信頼感を感じながら大会を過ごすことができたと思います。
- ・ リフティング記録が10回以上の分類による2チームの分けでしたが、リフティングの技術をもっているメンバーであったため、個の技術が通用しました。
- ・ 喜多方4年生大会の経験があったことから今大会は緊張せずにプレーしていたように見えました。
- ・ 三年生2名の物怖じしない活躍もあり、来年のU10の大会が楽しみです。
- ・ 予想以上に逞しい戦いを見せてくれ、信頼できるサッカー選手へと成長していることを感じました
- ・ シュートのタイミングは良いものの、枠内に決め切る精度が課題であり、今後も継続して取り組んでいきたい点です。

＜今後に向けて＞

- ・ 4年生は来年度のU11大会がほとんど無いことから大会が少ない学年であるため、リフティング100回以上を目指してL100クラスの昇級に挑み、U12大会に出場できるように自主練を頑張ってもらいたいと思います。

＜感謝＞

朝早くからの送迎や、会場での温かく力強い応援をいただきました保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。たします。そして、本大会を主催していただいた小野FC様、協賛企業のさいとう医院様、対戦していただいた各チームの皆様に感謝を申し上げます。

報告者：設楽コーチ



